

佐賀県玄海水産振興センター

Saga Prefectural Genkai Fisheries Research
And Development Center

<http://www.pref.saga.lg.jp/web/gensui.html>



玄海地域の豊かな漁業生産の確保と競争力のある玄海水産業の実現のために、水産技術の開発とその普及、漁業秩序の維持に努めます。



地域の概要

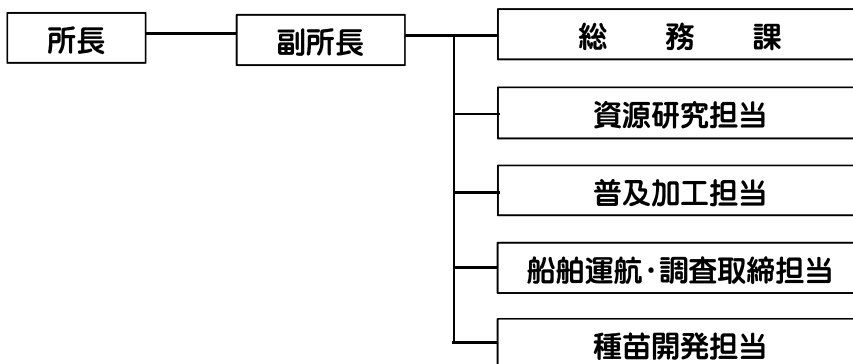
玄海地域は佐賀県の北西部にあり、東は福岡県、西は長崎県に接し、北は玄界灘に面しており、7つの離島を含む2市1町(唐津市・伊万里市・玄海町)から成っています。

海岸線は屈曲に富み、海岸線の総延長は約260kmに達し、ほぼ全域が玄海国定公園に指定されています。漁場は対馬暖流の影響下にあり、沖合域は天然礁が多く、マダイ、ブリ、イカ、アジ、サバ等の好漁場となっています。沿岸域の唐津湾・名護屋浦・仮屋湾及び伊万里湾等の内湾では、魚類養殖、カキ・ウニ・アワビ養殖、真珠養殖、クルマエビ養殖等が行われています。

沿革

明治44年 4月	佐賀県水産試験場本場を県庁内に設置 松浦海出張所を東松浦郡呼子町（現唐津市呼子町）に設置 有明海出張所を藤津郡浜町（現鹿島市浜町）に設置
昭和11年	松浦海出張所を唐津市西唐津に移転
昭和22年 9月	県庁内にあった本場と松浦海出張所を合併し、松浦海出張所を本場とする
昭和26年 7月	有明海出張所を有明海分場に昇格
昭和30年12月	高木瀬養魚場と嘉瀬水産加工研究所を廃止し、業務を本場に移管
昭和32年 4月	漁業用海岸局の業務を本場に移管
昭和37年 8月	有明海分場を佐賀県養殖試験場と改称し独立
昭和40年 4月	佐賀県水産試験場を唐津市唐房の現在地に新築移転
昭和51年 7月	栽培漁業センターを東松浦郡鎮西町（現唐津市鎮西町）に分場として設置
昭和55年 4月	栽培漁業センターを佐賀県栽培漁業センターと改称して独立
平成元年 3月	佐賀県水産試験場を佐賀県玄海水産試験場と改称
平成 4年 3月	研究棟を全面改築し、利用加工技術開発等の施設整備を図る
平成 4年 4月	佐賀県玄海水産試験場を佐賀県玄海水産振興センターと改称
平成13年 4月	佐賀県栽培漁業センターを統合し、波戸庁舎（種苗開発担当）として設置
平成16年 3月	無線局廃止
平成24年 4月	水産課から漁業取締り業務を移管

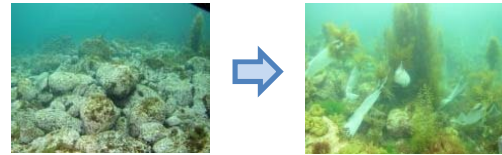
組織



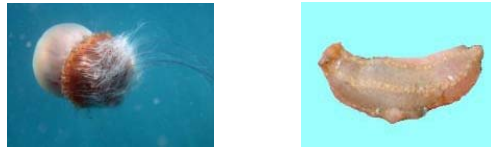
主な取り組み ①漁船漁業の振興 - 水産資源の回復・増大 -

漁場環境の維持・保全 ➔ 漁場の水質・底質・藻場環境等のモニタリングや改善に関する調査・研究を行います。

- 漁場環境モニタリング調査
 - ・外海域の透明度、水色、水質（水温、塩分、DO、COD等）、底質（IL、AVS）等調査
- 天然藻場磯焼け回復試験
 - ・ウニ侵入防護柵、母藻投入等による磯焼けした天然藻場の回復技術の開発
- 有害生物調査
 - ・大型クラゲ、グミ等の有害生物分布調査、情報提供
- 温排水影響調査
 - ・玄海原子力発電所から排出される温排水が漁場環境や海洋生物に及ぼす影響調査



【試験前】 天然藻場磯焼け回復試験 【試験後】



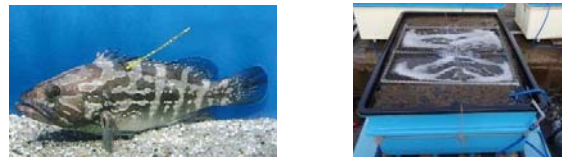
【エチゼンクラゲ】 有害生物調査 【グミ】

種苗生産・放流技術開発 ➔ 高品質種苗の量産技術、効果的な放流技術手法の開発に関する調査・研究を行います。

- 種苗量産技術開発
 - ・カサゴ、アカウニ、マナマコ、クロアワビ等の健苗育成、効率的生産等に関する種苗量産技術開発、餌料に関する研究
- 重要魚種栽培化実証試験
 - ・ヒジキの種（幼胚）作出技術、種苗生産・管理技術の開発
- 定着性魚類放流効果試験
 - ・クエの放流手法の開発、オニオコゼの放流効果調査
- 地先定着種放流等技術開発
 - ・クルマエビの放流手法の開発



【アカウニ種苗】 種苗量産技術開発 【マナマコ種苗】



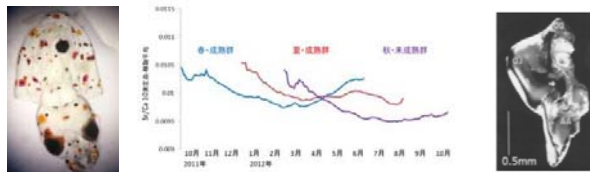
【クエの標識放流（アンカータグ）】 定着性魚類放流効果試験 【ヒジキの種（幼胚）作出試験】

資源管理手法の開発と適正管理 ➔ 資源の適正な管理技術の開発に関する調査・研究を行います。

- 資源評価調査
 - ・調査船による卵稚仔調査や市場での漁獲状況調査等のデータを基にした資源動向調査
- TAC関連魚種の漁獲情報収集及び解析
- 資源回復計画に関する調査
 - ・トラフグ漁獲動向調査、資源回復計画の検討
- 沖合漁業振興事業
 - ・トラフグ放流、効果調査
- ケンサキイカ生態解明に関する研究
 - ・ケンサキイカの飼育実験や平衡石の解析による生態解明調査



【市場調査】 資源評価調査 【魚体測定】



【孵化直後の稚イカ】 【平衡石を用いた季節群解析】 ケンサキイカ生態解明調査 【平衡石】

漁業秩序の維持 ➔ 調査取締船による違反操業や密漁等の取締りを行い、資源保護に努めます。

- 漁業取締り
 - ・調査取締船「まつら」、「かがみ」などによる漁業取締り



【調査取締船「まつら」操舵室】 【取締り用CCDカメラ】

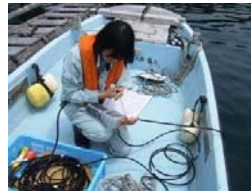
主な取り組み ②養殖業の振興 - 養殖生産の安定・拡大 -

養殖漁場環境の維持・保全 → **養殖漁場の水質・底質環境、赤潮等のモニタリングや水温情報等の提供を行います。**

- **養殖漁場環境モニタリング調査**
 - ・魚介類養殖場の透明度、水色、水質（水温、塩分、DO、COD等）、底質（IL、AVS）等のモニタリング
- **赤潮・貝毒モニタリング調査、対策技術の開発**
 - ・魚介類養殖場等における赤潮原因プランクトン、水質（水温、塩分、DO）等のモニタリング、赤潮発生時の緊急調査、情報提供
 - ・赤潮被害軽減化対策技術の開発
 - ・貝毒原因プランクトン、水質（水温、塩分、DO）等のモニタリング、貝毒発生時の緊急調査、情報提供
 - ・貝毒のHPLC法による定期的な定量検査、緊急調査
- **真珠漁場環境調査**
 - ・真珠養殖漁場の水質（水温、塩分、DO、プランクトン数〔珪藻〕等）のモニタリング、情報提供
- **水質の自動観測**
 - ・唐津湾、名護屋浦、伊万里湾の水温塩分等の自動観測モニタリング、情報提供



【沿岸域の漁場環境調査地点、自動観測ブイ設置地点】



【赤潮調査】



【貝毒定量検査】



【自動観測ブイ】



【自動観測ブイによるモニター画面】

養殖管理技術の指導、魚病対策 → **養殖管理の指導、魚病被害の未然防止、魚病発生時の診断等を行います。**

- **養殖衛生管理体制整備事業**
 - ・養殖場の巡回による養殖技術指導
 - ・講習会等の開催
 - ・魚病発生時の診断及び指導
 - ・種苗の健苗性検査、魚病診断
 - ・防疫技術の開発
- **健全養殖魚介類育成試験**
 - ・ウニ類の棘抜け症防除技術の開発



【養殖巡回指導】



【魚病検査】

新魚種開発試験 → **高価格で流通する魚介類の養殖技術開発を行います。**

- **新魚種開発試験**
 - ・市場調査等を基にした売れる魚介類の養殖技術開発試験（例：ヒジキ、カサゴ、アカガイ、マサバ、トリガイ等）



【アカガイ養殖技術開発試験】



【天然ヒジキ生息状況調査】

主な取り組み ③漁家経営力の強化 - 漁家経営の安定・向上

担い手・女性グループ支援 → 漁業担い手や女性グループ等の活動に対する支援を行います。

- 玄海水産振興研究会
・養殖部会、玄海力キ養殖会等の研究会の活動支援
- 中核的漁業者協業体、漁村女性起業家グループ支援
・活動支援や経営相談等



【研究会活動支援】



【女性部活動支援】

漁家経営の改善指導 → 漁家経営の安定のための指導を行います。

- 漁家経営の安定に向けた指導
・セーフティネット事業、共済加入促進のための情報提供等
- 新技術導入や共同化等による経費・労力削減指導

流通販売支援 → 水産物の衛生管理やPR、販売等に関する指導・支援を行います。

- 水産物の衛生管理、販路開拓等に関する講習会等の開催、指導



【販路開拓講習会】



【特産物試験販売】

地域特産加工品開発 → 地域特性や消費者ニーズに対応した特産品開発と技術指導を行います。

- 水産物の付加価値向上試験
・低・未利用資源等を活用した加工品開発
- 消費者ニーズに対応した加工品開発の技術指導
- 利用加工実習室での加工技術指導
(※利用加工実習室は、無料でご利用いただけます。)



【利用加工実習室】



【加工品開発技術指導】

複合経営の推進 → 漁船漁業と養殖や加工品販売等を組み合わせた複合経営の支援を行います。

- 複合経営への支援
・加工や養殖技術の指導、施設整備や販売等に要する初期投資に対する補助
・PRや販売等に関する指導・相談(専門家を派遣)



【女性部の複合経営への取組み】

主な取り組み ④漁業者への情報発信 - 漁業操業及び養殖管理の効率化

漁場環境情報

→ 養殖生産の安定化を図るために養殖漁場の環境情報を発信します。

□HP及びFAX等による情報発信

【漁場環境情報】

沿岸域の水温、塩分、DO、プランクトン、透明度(月1回)

【赤潮情報】

赤潮発生時の水色、プランクトンの種・細胞数(随時)

【真珠養殖場情報】

真珠養殖漁場の水温、塩分、DO、珪藻の細胞数(月1回)

□携帯電話による情報発信

【水温情報】

自動観測ブイによる唐津湾、名護屋浦、伊万里湾の表層・中層・底層の水温、表層の塩分値情報(20分ごとに更新)



【赤潮情報】



【携帯電話画面】

漁海況情報

→ 漁船漁業操業の効率化を図るために漁海況情報を発信します。

□HP及びFAX等による情報発信

【漁海況情報】

- ・漁海況情報(市場水揚げ量、宍岐水道・沿岸域の水温情報)
- ・ケンサキイカ情報(鳥取～長崎6県の水揚げ情報、水温情報)
- ・九州沿岸域、東シナ海、中西部日本海、日本周辺漁海況情報

□携帯電話による情報発信

【海況情報】

- ・対馬東・南海域、五島周辺海域の海面水温分布情報(平日1日1回更新) ※発行元:(社)漁業情報サービスセンター

漁海況情報(平成25年5月号)

発行元 佐賀県玄海水産振興センター
〒847-0122
佐賀県唐津市唐房6-4948-9
電話 0955-74-3021

(漁況) 九州沿岸域の水温分布と主要魚種の漁場、玄海漁場市場での主要魚種の水揚げ状況は以下のとおりでした。
玄海漁場市場における主要魚種の水揚げ動向(4月)

魚種名	4月水揚げ量(kg)		4月の平均値(前年同月の平均値)	3月水揚げ量(kg)	1-4月水揚げ量(%)	
	H25年	H24年			H25年	H24年
マダイ	18,404	19,810	▲	10,271	263	264
ヒメマス	1,407	2,232	▲	1,263	31	32
オニコノロ	444	381	▲	303	11	12
カサゴ	0	2,280	▲	3,784	85	109
イサナ	811	1,752	▲	603	21	28
サメ	1,222	1,600	▲	295	23	27
クロダイ	1,323	1,144	▲	888	37	30
カレイ	104	88	▲	501	10	10
クノシチ	62	191	▲	32	51	62
家の地エビ	297	351	▲	130	93	68
カニ	57	85	▲	51	67	61
カンサキイカ	13,771	5,234	▲	3,731	251	130
アオリイカ	3,784	1,444	▲	265	52	21
コウイカ類	13,771	7,760	▲	7,317	245	149
スズキイカ	3,883	841	▲	6,169	249	154
アワビ類	1,232	620	▲	616	23	23
サザエ	4,670	4,721	▲	3,450	141	129
サメ	0	31	▲	1,382	42	32
その他	110,879	105,400	▲	104,779	408	382
合計	133,283	156,189	▲	144,835	564	431

魚種名	4月水揚げ量(kg)		4月の平均値(前年同月の平均値)	3月水揚げ量(kg)	1-4月水揚げ量(%)	
	H25年	H24年			H25年	H24年
マダイ	18,404	19,810	▲	10,271	263	264
ヒメマス	1,407	2,232	▲	1,263	31	32
オニコノロ	444	381	▲	303	11	12
カサゴ	0	2,280	▲	3,784	85	109
イサナ	811	1,752	▲	603	21	28
サメ	1,222	1,600	▲	295	23	27
クロダイ	1,323	1,144	▲	888	37	30
カレイ	104	88	▲	501	10	10
クノシチ	62	191	▲	32	51	62
家の地エビ	297	351	▲	130	93	68
カニ	57	85	▲	51	67	61
カンサキイカ	13,771	5,234	▲	3,731	251	130
アオリイカ	3,784	1,444	▲	265	52	21
コウイカ類	13,771	7,760	▲	7,317	245	149
スズキイカ	3,883	841	▲	6,169	249	154
アワビ類	1,232	620	▲	616	23	23
サザエ	4,670	4,721	▲	3,450	141	129
サメ	0	31	▲	1,382	42	32
その他	110,879	105,400	▲	104,779	408	382
合計	133,283	156,189	▲	144,835	564	431

注: *前年同月より1.0%以上増加している魚種
▲: 前年同月より1.0%以内で減少している魚種
●: 前年同月より1.0%以上減少している魚種

トピックス

玄海漁場市場における4月の水揚げ量は、イカ類、アワビ類、マサバ、ブリ、サワラ、カタクナイフが前年同月を大きく上回りました。

7月上旬に、種苗生産したマダイ 66,000尾(85mm)を玄海海域に放流予定です。

【漁海況情報】

主な取り組み ⑤県民の方々への情報発信 - 玄海水産業への理解醸成 -

□玄海の家まるごと体験フェスタ

- ・県民の方々に、水産資源の保護や漁場環境保全等の大切さについて理解を深めていただくとともに、海や魚のことを学び、身近に感じてもらうため、年1回夏休み期間中の日曜日に「玄海の家まるごと体験フェスタ」を開催しています。

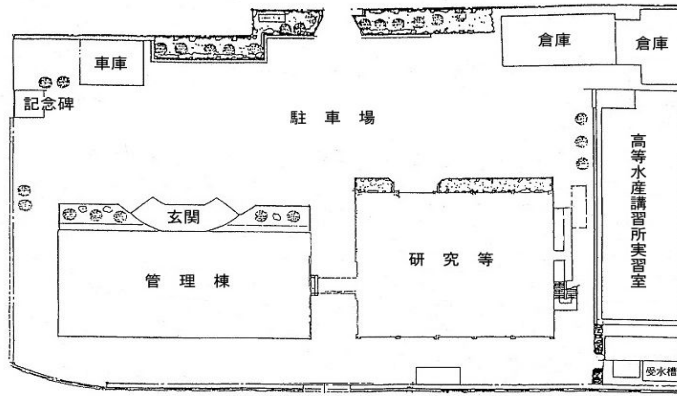


【魚さばき方体験】

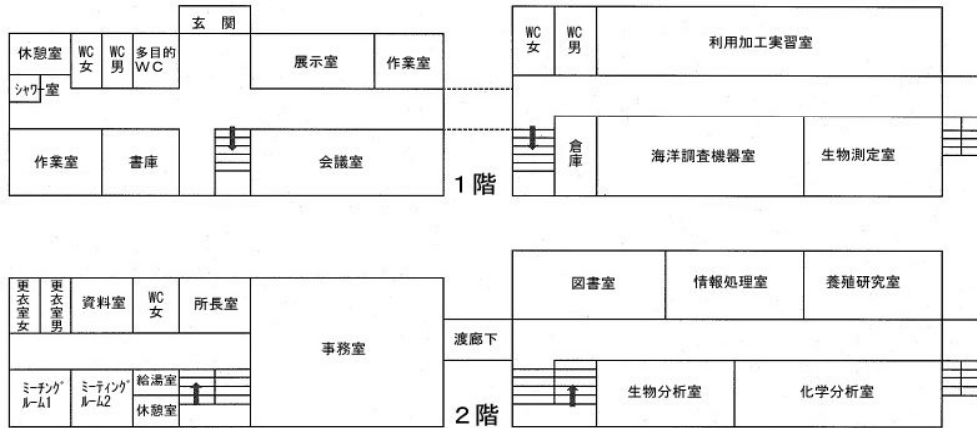


【ミニタッチプール】

施設の概要

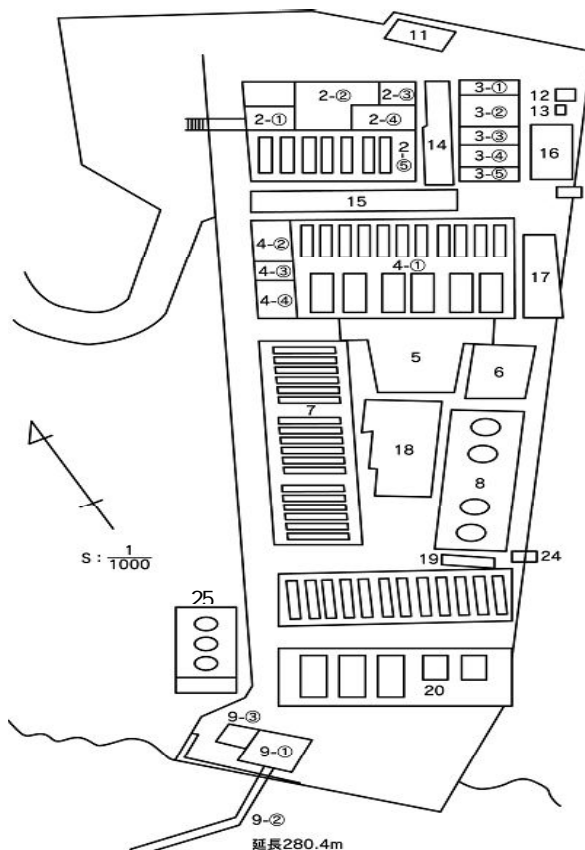


【敷地全体】



【管理棟および研究棟】

唐房庁舎見取図（総務課、資源研究担当、普及加工担当、船舶運航・調査取締担当）



- 1 事務所(本館2階)
- 2 -①顕鏡室
- ②恒温室1
- ③恒温室2
- ④培養液調整室
- ⑤飼育室
- 3 -①燃料保管庫
- ②空調機室
- ③電気室
- ④発電機室
- ⑤機械室
- 4 -①加温水槽
- ②倉庫
- ③顕鏡室
- ④作業員室
- 5 -上屋棟
- 6 -調餌冷凍庫
- 7 -屋外水槽
- 8 -円形水槽
- 9 -①ポンプ室
- ②取水管
- ③第2電気室
- 11-車庫
- 12-オイルタンク(灯油)
- 13-オイルタンク(軽油)
- 14-餌料培養棟1
- 15- " 2
- 16- " 3
- 17- " 4
- 18- " 5
- 19-測定室
- 20-ガザミ生産棟
- 24-ボイラー棟
- 25-海水ろ過槽

波戸庁舎見取図（種苗開発担当）

施設



波戸(はど)庁舎
(種苗開発担当)



唐房(とうぼう)庁舎
(総務課、資源研究担当、普及加工担当、船舶運航・調査取締担当)

調査取締船



漁業調査取締船「まつら」

総トン数:48トン、長さ:24.01m、速力:35ノット以上
推進器:2軸プロペラ、船体:軽合金



漁業調査取締船「かがみ」

総トン数:14トン、長さ:16.20m、速力:40ノット以上
推進器:ウォータージェット、船体:軽合金

アクセス



波戸(はど)庁舎 (種苗開発担当)

〒847-0401 唐津市鎮西町名護屋6966
TEL 0955(82)4311
FAX 0955(82)5705
E-mail genkaisenta@pref.saga.lg.jp
(交通機関)
JR筑肥線、唐津線、西唐津駅より波戸岬
国民宿舎行きバス40分(バス停「波戸」)
バス停より徒歩10分



唐房(とうぼう)庁舎

(総務課、資源研究担当、普及加工担当、
船舶運航・調査取締担当)
〒847-0122 唐津市唐房6丁目4948-9
TEL 0955(74)3021
FAX0955(74)6791
E-mail genkaisenta@pref.saga.lg.jp
(交通機関)
JR筑肥線、唐津線、西唐津駅より湊方面行き
バス10分(バス停「玄海水産振興センター」)
バス停より徒歩5分